



---

# これからの働きやすさ

---

M5400 サヤカ



2018年10月20日

# 目次

## はじめに

1. 働きやすさの条件:働きやすさを仕事に求めるものと設定し、その条件と労働環境との結びつきを考える

2. 時代による条件の変化:現在と過去の労働環境と求める条件を挙げ、働きやすさの変化を見る

2.1 現在の働きやすさ

2.2 現在の労働事情

2.3 過去の働きやすさと労働事情

3. 今後の働きやすさ:2020 年以降の将来の労働環境を予測し、それに伴う働きやすさの条件を予想する

3.1 将来の労働環境

## 3.2 将来の予想

## 参考文献の引用箇所

### 1. 働きやすさの条件

### 2. 時代による条件の変化

#### 2.1 現在の働きやすさ 『MONO』

#### 2.2 現在の労働事情 『労働 29』

#### 2.3 過去の働きやすさと労働事情 『雇用』

### 3. 今後の働きやすさ

#### 3.1 将来の労働環境 『労働 29』

#### 3.2 将来の予想

## 前書き

現在、我が国の労働人口は増加し、働き方にも多様性が見られる。今後、さらなる高齢化とともに、年金支給開始年齢の引き上げ、そしてそれに伴う定年の引き上げや廃止なども進んでいくと考えられる。今後の人生が百寿までならその4割以上を仕事に捧げていくこととなるだろう。

そこでこの論文では、人生で多くの時間を費やす仕事について、求める条件を働きやすさとし、その働きやすさが何によって変化するのか、また今後の働きやすさはどう変化していくのかを考える。

## 1.働きやすさの条件

世間でよく言われる、「働きやすさ」とは一体何であろうか。賃金や休暇の多さと答える人もいるだろう。その一方で「働きやすさ」とは職場における人間関係であると答える人もいる。つまり「働きやすさ」とは人それぞれであり、不変のものではないと言える。

しかし、人それぞれであると言っても、ある程度カテゴライズし、その傾向を見ることは可能である。そして、その傾向は時代によって変化するものでもある。

## 2. 時代による条件の変化

仕事に求める条件は時代によって変化する、という仮定から現在と過去の労働環境を挙げ、またそれぞれの時代に求める条件とその変化について考える。

### 2.1 現在の働きやすさ

2017年の調査によると現在最も仕事に求めることは「プライベートを大切に働けること」である[1]。

## 参考文献

『労働 29』厚生労働省,厚生労働白書,2017.

『雇用』日本労働研究機構,雇用創出を通じた労働市場の構造変化への対応,1995

## 参考 Web サイト

[1] 『MONO』 20代が仕事に求めること,参照日 2018-10-25,

<http://monoist.atmarkit.co.jp/mn/articles/1710/10/news050.html>.